

# 特別支援学級の学級編制基準の 改善を求める要請署名

## 【要請趣旨】

全国的に特別支援学級在籍者の児童生徒数が増え続け、2006年に10万4544人だった小中学校の特別支援学級在籍児童生徒数が、2015年には20万1493人と1.92倍となっています。一方、担当教員数はこの10年間で、3万8123人から5万8881人と1.54倍にとどまっています。また、在籍する児童生徒も、医療的ケアが必要な子ども、学年に沿った教科学習が可能な情緒障害の子ども、個別対応が常時必要な子ども等々、実態に大きな差があります。さらに、小学校では1年生から6年生まで、中学校では1年生から3年生までが在籍し、学年差、年齢差に応じた指導が必要であるにもかかわらず、十分な対応ができないのが現状です。

8人の子どもを一人で担任し、8人分の授業準備と家庭との連絡、所属学年やクラスの授業への付き添いなど、担当教員の負担も限界を超えています。しかし、1993年の第6次定数改善以来、特別支援学級の学級編制基準は1学級8名のまま変わっていません。

特別支援学級での教育を豊かに発展させるために、下記のことを要請します。

## 【要請事項】

1. 特別支援学級の学級編制基準を6名とすること。

氏 名	住 所

署名取り扱い団体

**全日本教職員組合障害児教育部・教組共闘連絡会**

〒102-0084 千代田区二番町12-1 TEL 03-5211-0123